

銀座街づくり会議

http://www.ginza-machidukuri.jp

〒104-0061 中央区銀座4-6-1 銀座三和ビル3F

Tel: 03.3567.1535 / Fax: 03.3563.0236 / E-mail: info@ginza-machidukuri.jp

*メール配信をご希望の方はお知らせください*このNewsLetterは、全銀座会会員、銀座街づくり会議関係者の方々にお送りしています*本誌の内容を、許可なく無断で複写・複製および転用・転載することを禁じます*

ニュースレターでも何度かお伝えしているように、銀座では2013年より交通問題に本格的に取り組んでいます。2013年12月には、「銀座地区モビリティデザイン」案を発表しました。

しかしながら、オリンピック開催に向け、東京都全体の動きが刻々と整えられつつあるなかで、銀座としても大きなグランドデザインとして考え直さなくてはならない部分と、逆に具体的に取り組める部分が出てきました。

オリンピックを契機に、 銀座の交通課題の解決を

新公共交通（BRT）の考え方

そもそも銀座では、交通問題を非常に重要な問題ととらえ、10年以上にわたって話し合いを続けてきています。2003年には中央区によって駐車場「銀座ルール」が策定されました。以後、荷捌き・身障者用駐車場の付置義務、駐輪場問題、歩行者にわかりやすい交通サイン問題等、継続的に中央区と話し合ってきました。

2013年、中央区がLRT案を発表したことに対し、銀座街づくり会議では半年をかけて、中村文彦教授(横浜国立大学)とともに勉強会を行い、12月には「銀座地区モビリティデザイン案」を発表しました。

2014年になり、オリンピック対応の変化をふまえて、7月2日、9月2日と中央区との協議を行い、8月26日、11月5日、12月4日と中村先生を中心とした内部勉強会を、中央区も交えて行ってきました。内部勉強会では毎回、会議室がいっぱいになるほどの参加者によって活発な議論が交わされています。

歩行者を優先順位の1位とし、安心・安全でやさしい街づくりをめざして、エリア、通りの実情をふまえ、自転車・路上駐車・荷捌き車両・違法駐車などの課題解決を行い、銀座内をより快適に回遊できるようにするという基本的な考え方は変わりません。

新公共交通については、東京都が本格的に、臨海部と都心を結ぶBRT事業に取り組むことが決まりましたが、銀座としては、

- ・大量輸送、定時性、速達性、街並みに調和する美しいデザイン、新しい時代の新しい価値観(環境・安全)を提案する、銀座にふさわしい乗り物にしてほしい。

- ・駅のあり方、代金支払い方法なども、新技術を投入。
- ・交通拠点としての三原橋地下空間の利活用。
- ・ルートについては、銀座地区内に一部または全面的に、BRTを呼び込みたい。臨海部→市場跡→銀座→延伸部、と地上のにぎわいを連続させたい。銀座が望む来街者は、大量の通勤客の通過ではなく、お買い物と街歩きを楽しむ人々である。したがって、ルートがいずれの場合にでも銀座へのアクセスに加え、銀座内の回遊を促進する仕掛けを提案する。銀座は歩行者天国を実施しているように、歩行者を大切にしている。大胆な歩行空間整備(歩道の拡幅、歩行者天国の時間的・エリア的拡張等)、時間帯別道路利用の提案などをあわせて行いたい。といった考え方をもっています。

東京都都市整備局に報告

以上の考え方を11月17日、東京都都市整備局にも正式にお伝えしました。東京都からは、「都も思いは同じ。地元の意見を積極的に聞き、情報交換しながらすすめたい。」とご返答をいただきました。東京都はすでに、京成バス、都交通局をBRT事業者として選び、年度内にルート案を出すというスケジュールで動いています。

銀座街づくり会議では、BRT検討を交通インフラ整備の好機として、中央区と情報を共有しながら銀座のあらゆる交通問題を洗い出し、歩いて楽しい街・銀座の実現に取り組んでゆく所存です。銀座内の通りごと、ブロックごとの特徴を交通の専門家をまじえて、きめこまかく調査研究し、自転車を入れる／入れない地区、自動車を入れる／入れない地区・時間帯などを検討していきます。